

まちづくりの目標	3	みどりうるおう環境を大切にすまち
政策	2	自然豊かな憩い、安らぐまちにします

施策	1	水と緑に親しめるまちにします	担当部(統括部)	都市整備部
----	---	----------------	----------	-------

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿

水と緑のネットワーク整備が進み、市の魅力スポットとなっています。

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	水路堤防を利用した植樹が始まり、ネットワーク整備が進み出している	水路堤防を利用した植樹により、ネットワークが延長されている	水路堤防を利用したネットワークが完了し、淀川河川公園の整備が始まっている	淀川河川公園の整備が行われている	淀川河川公園の整備が行われている	水と緑のネットワーク環境が進み、沿川施設に人が集まり、魅力スポットとなっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

協働による河川・水路の管理が進んでいます。

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	機能に応じた水路の管理手法について検討されている	機能に応じた水路の管理手法について検討されている	機能に応じた水路の管理手法について検討されている	機能に応じた水路の管理手法について検討されている	水路の管理手法が定まっている	水路について機能に応じた管理がされている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

市民や事業者の積極的な活動により、市内各地の緑化が進んでいます。

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	市内の各地に「花いっぱい」の機運が出始めている	緑化に取り組む市民や事業者が増えつつある	緑化に取り組む市民や事業者が増えている	市民や事業者の中から緑化を指導できる人材が増えつつある	市民や事業者の中から緑化を指導できる人材が育ち、協働によって市内の緑化が進んでいる	市民や事業者の積極的な活動によって、市内各地の緑化が進んでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
水と緑のネットワーク整備延長距離	目標	—	—	—	—	3,983 m	4,483 m	4,983 m	4,983 m	4,983 m	4,983 m
	実績	3,383 m	3,383 m	3,383 m	3,483 m	3,983 m					
緑被率(平成9年度15.0%)	目標	—	—	—	—	—	—	※前期終了年度までの目標値は、平成24～25年度で改定する「緑の基本計画」で決定			20.0%
	実績	—	—	—	—	—	—				
アドプト・リバーの参加団体数	目標	—	—	—	—	1団体	1団体	1団体	1団体	2団体	3団体
	実績	0団体	0団体	1団体	1団体	1団体					
花とみどりの地域づくりに興味を持つ団体の数	目標	—	—	—	—	43団体	43団体	44団体	45団体	45団体	50団体
	実績	32団体	37団体	43団体	43団体	43団体					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎河川公園・緑地の整備	平成25年度事業費計 1,900千円
-------------	-----------------------

ふれあいづみ事業について基盤整備を受け持つ大阪府に早期整備の要望を行い、基盤整備が完了した地域から環境整備を行います。また、淀川河川公園の早期整備を国に要望します。

平成25年度事業 さくらづみ事業1,900千円(公園みどり課)

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづみ事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづみ事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづみ事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづみ事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづみ事業の復活要望	
取組実績	大阪府に対して、平成24年度の事業実施について確認した。					
成果	基盤整備事業が進展しないため、市として環境整備も進まず、「水と緑のネットワーク整備」が進捗していない。					
次年度課題	整備には府の予算措置が不可欠であるが財政状況を鑑みると当面は困難と考える。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	国土交通省に対して、淀川河川公園の早期整備を要望	淀川河川公園(鳥飼下)の実施設計(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の工事着手(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の工事(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の工事(国土交通省)	
取組実績	淀川河川公園中流右岸地域協議会に参加し、国から提示された整備方針について協議し、最終案を協議会として了承した。					
成果	鳥飼下地区の河川公園の最終決定案について、国で技術的検討を行った後工事に着手し、5年以内に整備が行われる予定である。					
次年度課題	整備着手には最長5年先になる、淀川河川事務所へは早期整備の働きかけをし緊密に協議を行っていく必要がある。					
計画	「さくらづつみ」事業開始延長500m施工	「さくらづつみ」事業延長500m施工	「さくらづつみ」事業延長500m施工 工事完了			
取組実績	さくらづつみの事業を開始し、植樹を500m実施した。					
成果	既存のさくらづつみが500m延長され、新たな名所として整備が進んでいる。					
次年度課題	次年度のさくら植栽予定場所の一部が不法に使用されているため、植樹場所について水路管理者等と協議する必要がある。					

◎協働による河川管理の推進	平成25年度事業費計 4,286千円
---------------	-----------------------

アドプト・リバーなどの自主的な美化活動を支援し、協働による河川や水路の清掃などを行い、管理の充実を図ります。

平成25年度事業	農業水路管理事業4,286千円・アドプト・リバー支援事業0円(下水道事業課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	協働で行う水路管理方策のとりまとめ	協働による水路管理の実施
取組実績	年間を通じて、水路清掃や美化活動など、地域住民が行う活動に対する支援を行った。					
成果	地域住民と水路の管理について連携を深めることができた。					
次年度課題	水路管理における連携の在り方について引き続き検討を行っていく必要がある。					
計画	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援
取組実績	地域住民と神安土地改良区との協働によって、味生水路のデッキ塗装を行った。					
成果	水路の美化が進み、地域住民の住みやすさ、快適さを向上させる協働のまちづくりを実践することができた。					
次年度課題	引き続き支援を継続していく必要がある。					

○河川遊歩道の活用						平成25年度事業費計
協働でイベントを開催するなど、河川遊歩道をにぎわいの場として積極的に活用します。						—
平成25年度事業	全課					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用
取組実績	市主催(子供フェスティバル・ろうそくファンタジー)・市民主体(チューリップアート・大正琴演奏)のイベントで遊歩道の使用を積極的に許可している。					
成果	公園がイベントの会場として活用されることにより市民の活動拠点として利用されるようになった。					
次年度課題	公園の草の繁茂状況によりイベント開催時期に合わせた除草が管理上難しくなっている。					

◎事業者による緑化の推進						平成25年度事業費計
事業者との協力体制を強化し、事業所施設における緑化を推進します。						—
平成25年度事業	緑の環境形成促進事業0円(公園みどり課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	企業の緑化用地を協働で運営する計画に協力	協働運営の公園(広場)の試験運用	協働運営の公園(広場)の本格稼働	協働運営の公園(広場)を例に挙げ、企業へのPRを実施	協働運営の公園(広場)を見本として、企業へのPRを実施	協働運営の公園(広場)を見本として、企業へのPRを実施
取組実績	企業が整備する緑地を協働で運営する方法について検討を行った。					
成果	㈱カネガが工場敷地の一部で市内環境保全・緑化推進を目的とした「ピオトープ」の整備に取り掛かる。この「ピオトープ」は産・官・学・市民で整備・管理を協働で行うものとなった。					
次年度課題	整備する緑地の管理方法について、詳細を詰めていく。					

○緑化活動の支援						平成25年度事業費計
花とみどりの相談所で緑化の相談・指導を行うとともに、自治会をはじめとする地域団体やボランティア団体の育成・支援を行います。						5,939千円
平成25年度事業	花壇等の維持管理充実事業2,330千円・花いっぱい活動助成事業1,100千円・花とみどりの相談所運営事業181千円・緑化推進事業886千円・緑化推進連絡会補助事業1,442千円(公園みどり課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導
取組実績	緑化相談を128件受け、問題解決にあたった。					
成果	花と緑の相談所で緑化の相談・指導を行い、市民に幅広い花の知識を持ってもらうことができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要である。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成
取組実績	「花いっぱい活動」団体に、肥料、苗、種等の現物支給を行った。「花と木の実践教室」を24回開催し、16人の参加があった。					
成果	1か年を通じて、「花と緑の実践教室」で市民に直接緑化指導を行うことにより、豊富な知識を養ってもらうことができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要である。					
計画	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	ちびっこ広場、公園に花壇の造成
取組実績	りんどう公園内に花壇を造成し、大阪府立吹田支援学校による花の植え替え等を行った。					
成果	市内公園花壇数が増えた。また、大阪府立吹田支援学校の生徒が花壇活動を通じて、花の育成知識を得ることができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要である。					
計画	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進
取組実績	道路沿いや公園内にある花壇の管理、植え替えや、誕生記念植樹祭、市民健康まつりでの緑化の啓発活動を協働で行った。					
成果	緑化推進連絡会と協働で啓発活動を行ったことで、市民に広く花壇活動を知ってもらうことができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要である。					
計画	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討
取組実績	「広報せつつ」に「花と緑に親しみませんか」をテーマに鶴野苗圃、花とみどりの相談所、花と木の実践教室、緑化の支援について掲載した。また、鶴野苗圃、花とみどりの相談所、花と木の実践教室、緑化の支援についてホームページへ掲載を検討した。					
成果	「広報せつつ」で緑化活動の支援をPRしたことにより、「花と木の実践養成教室」への応募者が急増し、緑化に対する啓発となった。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要である。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画		他市町で緑化活動状況を調査し、アドバイザー等の指導者の有無や役割や方法について再整理する。				
取組実績						
成果						
次年度課題						

★その他	平成25年度事業費計 8,709千円
------	-----------------------

施策全体にかかる取組み						
平成25年度事業	緑の基本計画改定事業8,709千円(公園みどり課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画		緑の現況調査、市民アンケートの実施により、現況解析及び課題整理	緑の基本計画改定	計画の進行状況把握	計画の進行状況把握	計画評価、新計画の策定
取組実績						
成果						
次年度課題						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

安威川・大正川遊歩道の整備						平成25年度事業費計 —
ジョギング・ウォーキングに利用しやすいよう、遊歩道への距離表示や健康遊具の設置を行います。また、市の魅力として、緑の散策路マップを作成します。						
平成25年度事業	遊歩道整備事業0円(公園みどり課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	遊歩道の箇所を検討	距離標の設置について隣接市と協議。	遊歩道の設置箇所について河川管理者と協議。	遊歩道の設置箇所について河川管理者と協議を進め、測量、実施設計、工事着手	遊歩道工事	
取組実績	遊歩道に設置する距離表示について、隣接自治体の設置状況を調査した。					
成果	近隣市では距離標を設けていないため、本市単独で距離標を設置するか、その有効性について再考する必要がある。					
次年度課題	市単独での距離標設置が市民利用の観点で有効かどうかの検討が必要である。					
計画	散策路マップについて他市調査	他市の状況も勘案しながら、ピックアップするものを検討	他市の状況も勘案しながら、ピックアップするものを検討	他市の状況も勘案しながら、ピックアップするものを検討	散策路マップ作成	散策路マップ改定
取組実績	他市での散策路マップ公表状況の調査をした。					
成果	参考となる散策マップが近隣市で制作されておらず、散策路の利用方法について市独自で検討する必要がある。					
次年度課題	公園を連ねた散策路マップの利用方法について、整理する必要がある。					

河川堤防敷を活用した桜並木の取組み					平成25年度事業費計 1,900千円	
大阪府、神安土地改良区と共同で、新幹線公園から番田水路を上流に向かって桜の植樹を行います。また、その他の河川堤防敷の活用も検討します。						
平成25年度事業 さくらづつみ事業1,900千円(公園みどり課)						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
計画	「さくらづつみ」事業開始延長500m施工	「さくらづつみ」事業延長500m施工	「さくらづつみ」事業延長500m施工 工事完了			
取組実績	さくらづつみにさくらを植樹し500m延長した。					
成果	既存のさくらづつみが延長され、新たな名所として整備されつつある。					
次年度課題	次年度のさくら植栽予定場所の一部が不法に使用されているため、植樹場所について水路管理者等と協議する必要がある。					

アドプト・リバーなどの推進					平成25年度事業費計 —	
自治会や事業者、ボランティア団体などが取り組む美化活動を支援し、拡充します。						
平成25年度事業 アドプト・リバー支援事業0円(下水道事業課)						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
計画	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援
取組実績	地域住民と神安土地改良区との協働によって、味生水路のデッキ塗装を行った。					
成果	水路の美化が進み、地域住民の住みやすさ、快適さを向上させる協働のまちづくりを実践することができた。					
次年度課題	引き続き支援を継続していく必要がある。					